

## 中小企業景況調査報告書

2019年10～12月期実績

2020年1～3月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。

調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

## 1. 調査要領

## (1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2019年10～12月期の実績(12月見込)2020年1～3月期見通し

②調査期間：2019年11月7日～11月15日 ※調査時点は2019年11月15日

## (2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

## (3) 調査対象商工会

①人口～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別枝幸町、安平町、更別村

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、斜里町、湧別町、新ひだか町、幕別町、釧路町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

## (4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	51	50	98.0%	小売業	89	83	93.3%
建設業	50	46	92.0%	サービス業	110	100	90.9%
				合計	300	279	93.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

## (5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は $50-20=+$ 30となり、売上の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

## 2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					今期	来期見込
	今期	来期見込	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9			
製造業	▲ 14.3	▲ 17.4	▲ 7.0	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 19.6	
建設業	▲ 17.7	▲ 16.3	0.0	▲ 11.9	13.6	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 24.0	
小売業	▲ 32.9	▲ 41.7	▲ 34.4	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 45.0	
サービス業	▲ 30.6	▲ 26.3	▲ 33.4	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 28.2	

### 3. 北海道内商工会地域の状況

製 造 業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 1-3	H31. 4-6	H31. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	10.2	10.9	15.0	9.3	13.6	12.8	6.5
	不変	65.3	60.8	50.0	74.4	68.2	61.7	67.4
	悪化した	24.5	28.3	35.0	16.3	18.2	25.5	26.1
	D・I	▲ 14.3	▲ 17.4	▲ 20.0	▲ 7.0	▲ 4.6	▲ 12.7	▲ 19.6
売上(加工)額	増加した	24.0	16.0	14.0	46.8	40.4	20.0	
	不変	44.0	44.0	20.9	36.2	31.9	44.0	
	減少した	32.0	40.0	65.1	17.0	27.7	36.0	
	D・I	▲ 8.0	▲ 24.0	▲ 51.1	29.8	12.7	▲ 16.0	
資金繰り	好転した	6.1	6.3	7.5	8.5	6.5	6.1	
	不変	85.7	77.0	77.5	89.4	89.2	87.8	
	悪化した	8.2	16.7	15.0	2.1	4.3	6.1	
	D・I	▲ 2.1	▲ 10.4	▲ 7.5	6.4	2.2	0.0	
原材料仕入単価	上昇した	56.0	41.7					
	不変	40.0	56.2					
	低下した	4.0	2.1					
	D・I	52.0	39.6					
採算(経常利益)	好転した	10.2	8.5					
	不変	65.3	63.8					
	悪化した	24.5	27.7					
	D・I	▲ 14.3	▲ 19.2					

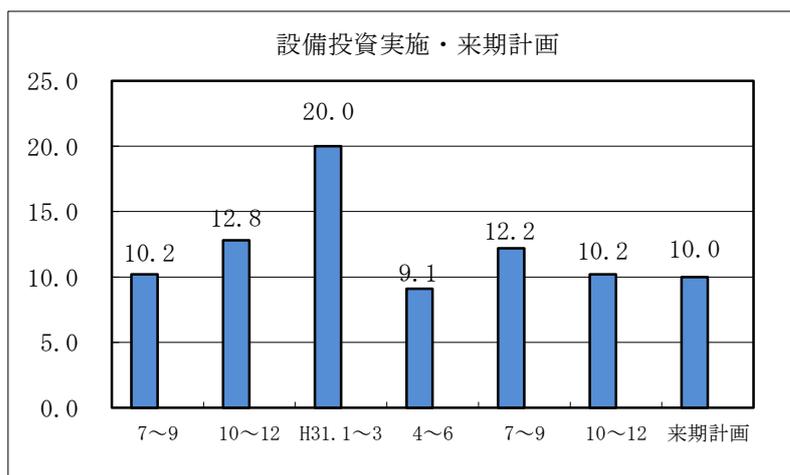
#### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

##### 【今期実施内容】

回答49事業所の内、5事業所(10.2%)が実施。●生産設備4事業所、●土地、工事建物、付帯施設、OA機器=各1事業所

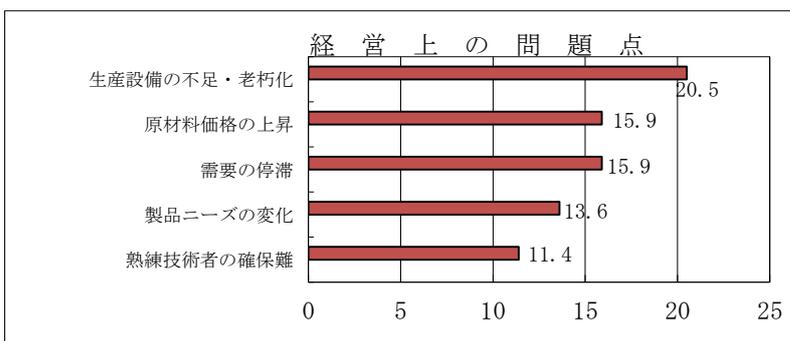
##### 【来期計画内容】

回答50事業所の内、来期に5事業所(10.0%)が計画。●生産設備=4事業所、●工場建物、OA機器=各1事業所



#### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回も1位は「生産設備の不足・老朽化」で前回より2.3ポイント増加した。2位の「原材料価格の上昇」は4.5ポイント増加、同じく2位「需要の停滞」は2.3ポイント増加した。4位「製品ニーズの変化」は前回番外から4.7ポイント増加。5位「熟練技術者の確保難」は前回2位から4.5ポイント減少。前回4位の「従業員の確保難」は前回13.6%から9.1ポイント減少で番外となった。



建設業		主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）						
項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 1-3	H31. 4-6	H31. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	6.7	9.3	4.8	25.0	9.3	13.3	4.3
	不変	68.9	65.1	78.5	63.6	79.1	71.1	67.4
	悪化した	24.4	25.6	16.7	11.4	11.6	15.6	28.3
	D・I	▲ 17.7	▲ 16.3	▲ 11.9	13.6	▲ 2.3	▲ 2.3	▲ 24.0
完成工事 (請負工 事) 額	増加した	19.6	15.2	18.6	37.7	34.9	18.2	
	不変	54.3	47.8	37.2	35.6	53.5	45.4	
	減少した	26.1	37.0	44.2	26.7	11.6	36.4	
	D・I	▲ 6.5	▲ 21.8	▲ 25.6	11.0	23.3	▲ 18.2	
資金繰り	好転した	4.4	4.5	2.4	15.9	7.1	4.8	
	不変	91.2	81.9	88.1	75.0	88.1	85.7	
	悪化した	4.4	13.6	9.5	9.1	4.8	9.5	
	D・I	0.0	▲ 9.1	▲ 7.1	6.8	2.3	▲ 4.7	
材 料 仕入単価	上昇した	57.8	34.1					
	不変	42.2	65.9					
	低下した	0.0	0.0					
	D・I	57.8	34.1					
採算(経 常利益)	好転した	6.5	6.7					
	不変	69.6	64.4					
	悪化した	23.9	28.9					
	D・I	▲ 17.4	▲ 22.2					

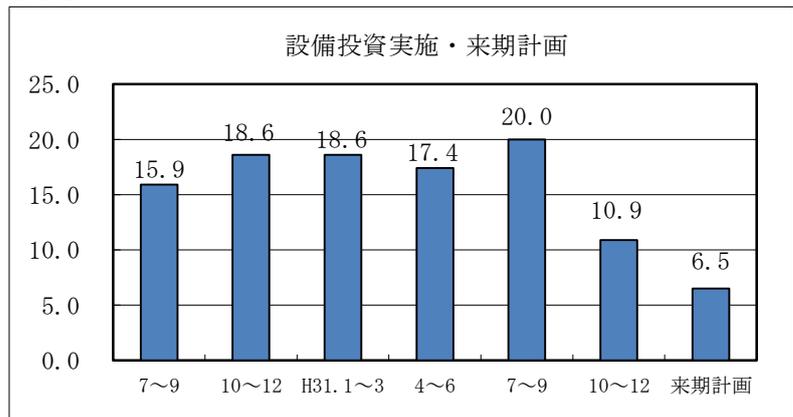
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答46事業所の内、5事業所(10.9%)が実施。●建設機械=3事業所、●車両・運搬具、OA機器=各2事業所、●建物=1事業所

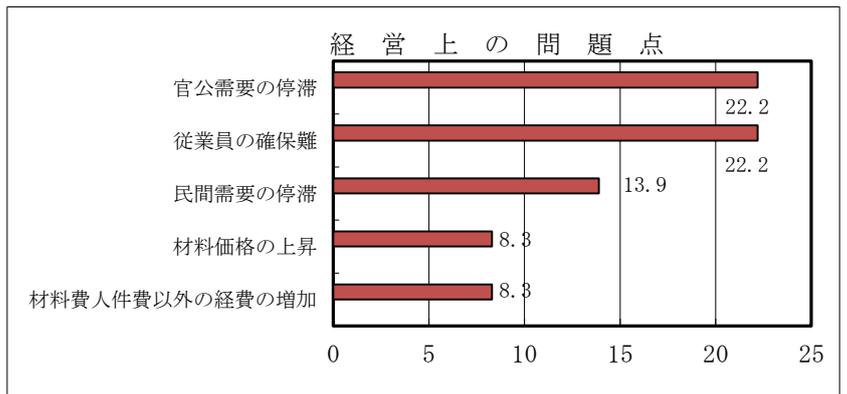
【来期計画内容】

回答46事業所の内、来期は3事業所(6.5%)が計画。●OA機器=2事業所、●建物、車両・運搬具=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回も1位は「官公需要の停滞」と「従業員の確保難」でポイントの増減もなかった。3位は「民間需要の停滞」で前回4位から2.8ポイント増加した。4位は前回3位の「材料価格の上昇」で5.6ポイント減少。同じく4位の「材料費人件費以外の経費の増加」は前回番外から2.7ポイント増加した。前回5位の「下請業者の確保難」は前回と変わらず5.6%だったが、番外となった。



## 小 売 業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 1-3	H31. 4-6	H31. 7-9	今期	来期見込
業 況	好転した	7.3	5.1	1.7	9.7	6.7	6.9	3.8
	不 変	52.5	48.1	58.6	59.7	64.0	50.0	47.4
	悪化した	40.2	46.8	39.7	30.6	29.3	43.1	48.8
	D・I	▲ 32.9	▲ 41.7	▲ 38.0	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 36.2	▲ 45.0
売上額	増加した	9.6	6.0	15.7	26.0	22.9	24.7	
	不 変	38.6	38.6	38.6	44.1	42.2	30.9	
	減少した	51.8	55.4	45.7	29.9	34.9	44.4	
	D・I	▲ 42.2	▲ 49.4	▲ 30.0	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 19.7	
資金繰り	好転した	1.2	3.7	1.4	2.6	6.1	3.8	
	不 変	75.6	59.7	71.1	79.0	67.1	69.3	
	悪化した	23.2	36.6	27.5	18.4	26.8	26.9	
	D・I	▲ 22.0	▲ 32.9	▲ 26.1	▲ 15.8	▲ 20.7	▲ 23.1	
商 品 仕入単価	上昇した	39.8	31.3					
	不 変	51.8	56.7					
	低下した	8.4	12.0					
	D・I	31.4	19.3					
採算(経 常利益)	好転した	4.8	3.6					
	不 変	53.0	53.0					
	悪化した	42.2	43.4					
	D・I	▲ 37.4	▲ 39.8					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

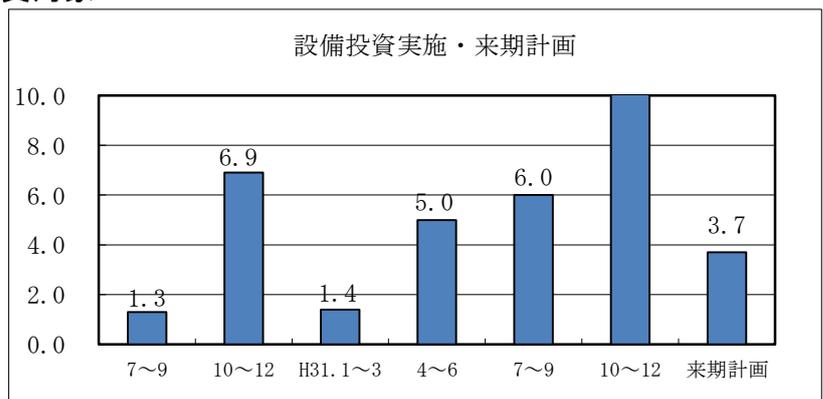
回答83事業所の内、9事業所(10.8%)が計画。

- 店舗、販売設備=各4事業所、
- OA機器=3事業所、●付帯施設=2事業所

#### 【来期計画内容】

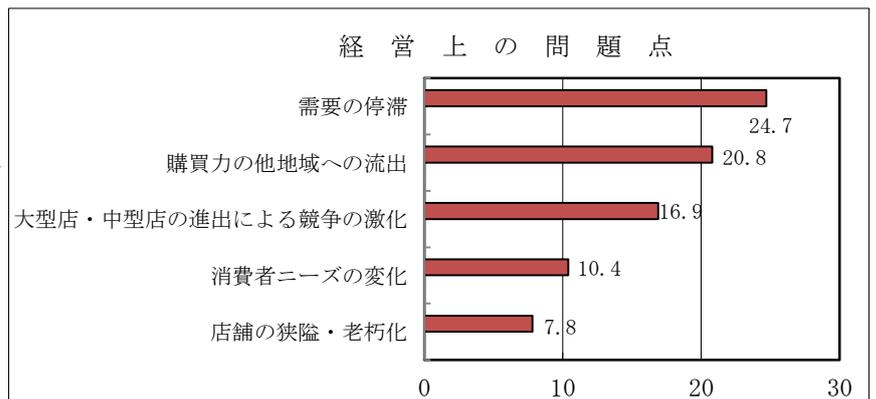
回答82事業所の内、来期は3事業所(3.7%)が計画。

- 店舗=2事業所、●車両・運搬具、その他=各1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

今回1位は「需要の停滞」で前回2位から1.3ポイント増加。2位は前回1位の「購買力の他地域への流出」で7.8ポイント減少した。3位は前回と同じく「大型店・中型店の進出による競争の激化」でポイントの増減もなかった。4位も前回と変わらず「消費者ニーズの変化」だがポイントは2.6ポイント増加した。5位は前回番外の「店舗の狭隘・老朽化」で5.2ポイント増加。前回5位の「販売単価の低下、上昇難」は番外となっている。



## サービス業

### 主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	H31. 1-3	H31. 4-6	H31. 7-9	今期	来期見込
業況	好転した	5.1	7.4	4.7	3.2	11.6	7.5	9.8
	不 変	59.2	58.9	61.2	60.6	65.2	61.3	52.2
	悪化した	35.7	33.7	34.1	36.2	23.2	31.2	38.0
	D・I	▲ 30.6	▲ 26.3	▲ 29.4	▲ 33.0	▲ 11.6	▲ 23.7	▲ 28.2
売上(収入)額	増加した	11.0	14.1	14.1	21.2	29.8	13.0	
	不 変	47.0	47.5	40.2	41.3	39.4	42.0	
	減少した	42.0	38.4	45.7	37.5	30.8	45.0	
	D・I	▲ 31.0	▲ 24.3	▲ 31.6	▲ 16.3	▲ 1.0	▲ 32.0	
資金繰り	好転した	3.0	4.0	2.2	3.0	7.8	5.1	
	不 変	74.8	72.8	78.0	75.0	74.6	75.5	
	悪化した	22.2	23.2	19.8	22.0	17.6	19.4	
	D・I	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 17.6	▲ 19.0	▲ 9.8	▲ 14.3	
仕入単価(材料等)	上昇した	46.5	38.8					
	不 変	50.5	56.1					
	低下した	3.0	5.1					
	D・I	43.5	33.7					
採算(経常利益)	好転した	4.0	5.1					
	不 変	58.0	62.6					
	悪化した	38.0	32.3					
	D・I	▲ 34.0	▲ 27.2					

### ○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

#### 【今期実施内容】

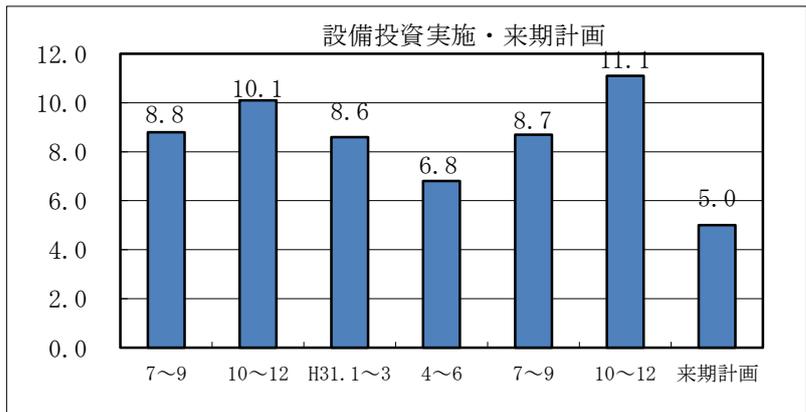
回答99事業所の内、11事業所(11.1%)が実施。

●建物、サービス=各4事業所  
●OA機器=2事業所、●車両・運搬具、付帯施設=各1事業所

#### 【来期計画内容】

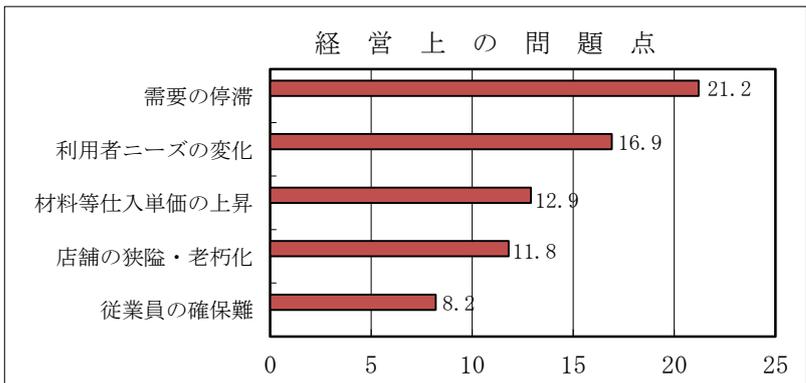
回答100事業所の内、5事業所(5.0%)が計画。

●その他=2事業所、●土地、車両・運搬具、付帯施設=各1事業所



### ○ 今期の経営上の問題点(1位回答の多い順。同率の場合は1~3位回答合計による)

1位は前回2位の「需要の停滞」で4.3ポイント増加した。2位は前回1位の「利用者ニーズの変化」で3.3ポイント減少した。3位は前回4位の「材料等仕入単価の上昇」だが前回より0.6ポイント減少した。4位は前回2位の「店舗施設の狭隘・老朽化」で前回より5.1ポイント減少している。5位は前回同様「従業員の確保難」だが前回10.2%から2ポイント減少している。



#### 4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

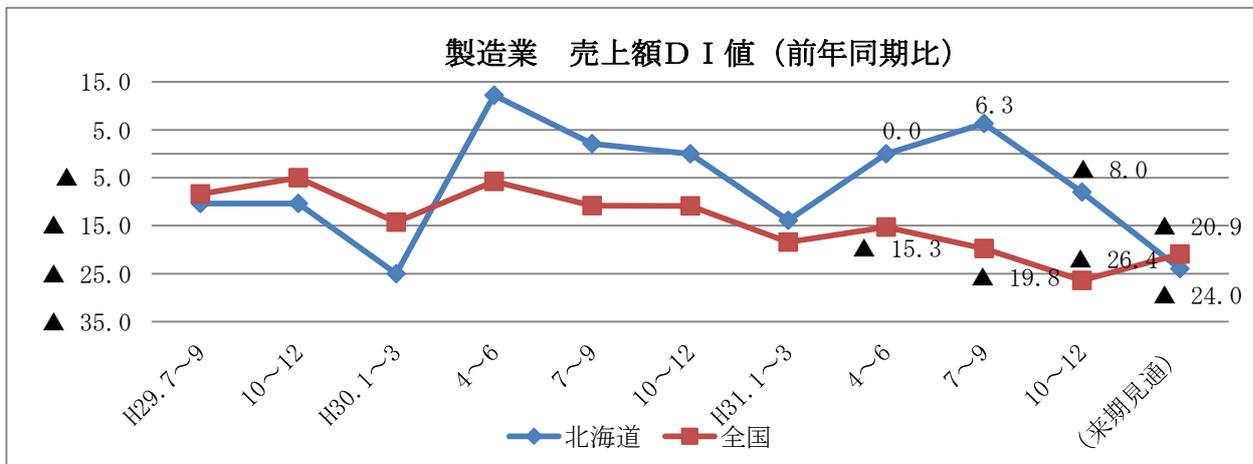
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

##### 製造業

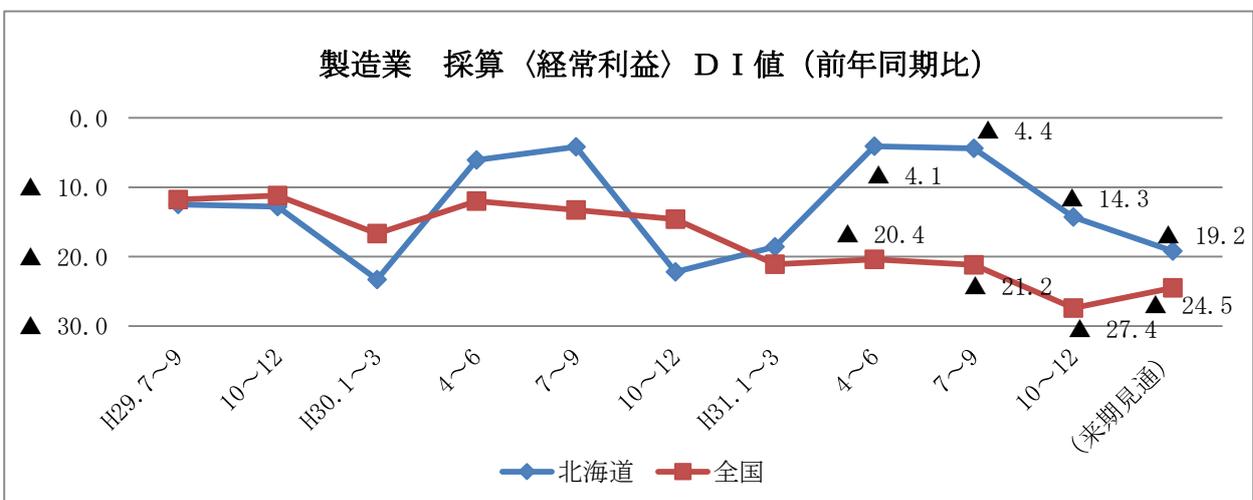
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加  
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

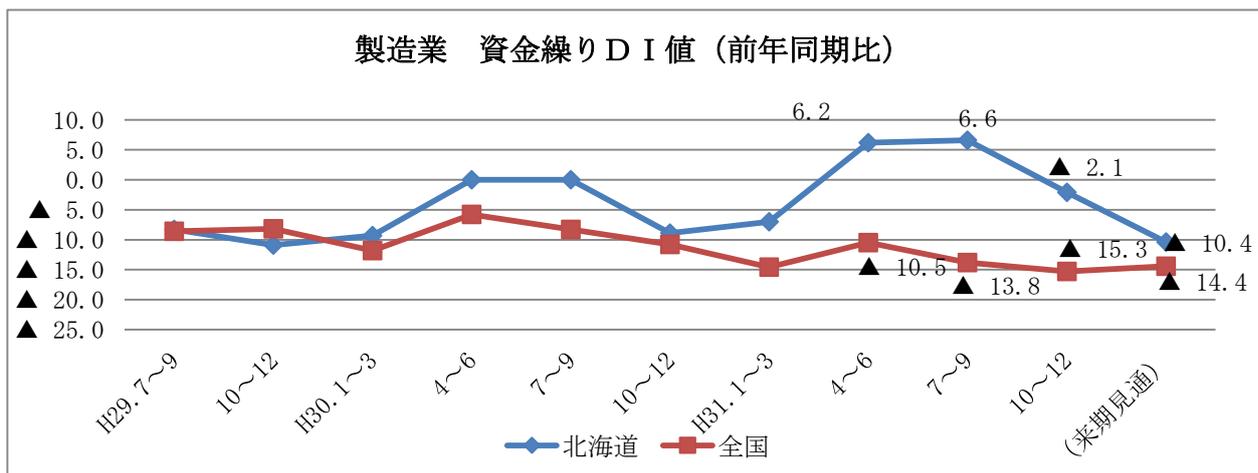
##### 売上額



##### 採算



##### 資金繰り

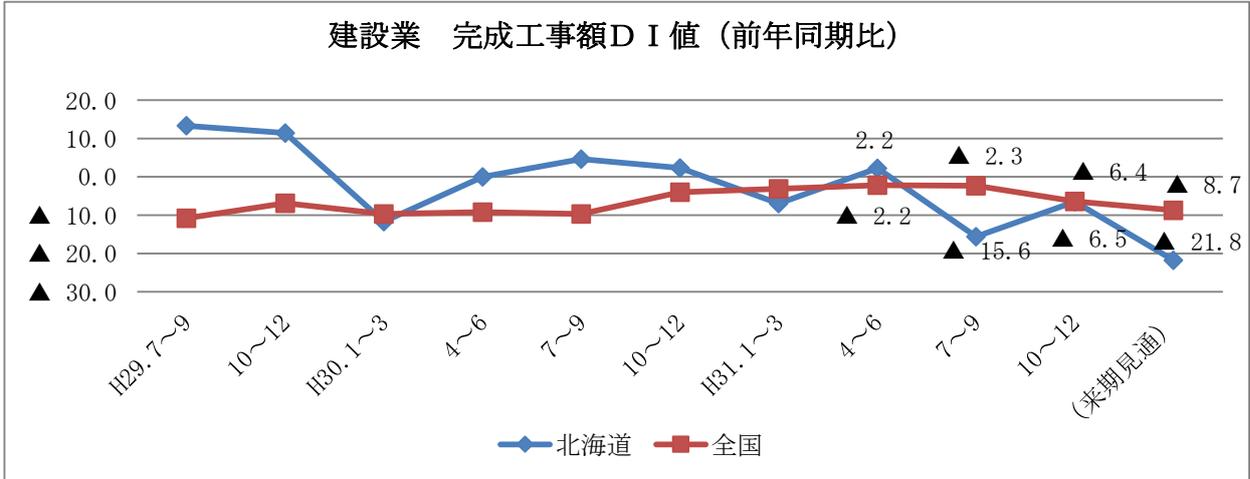


**建設業**

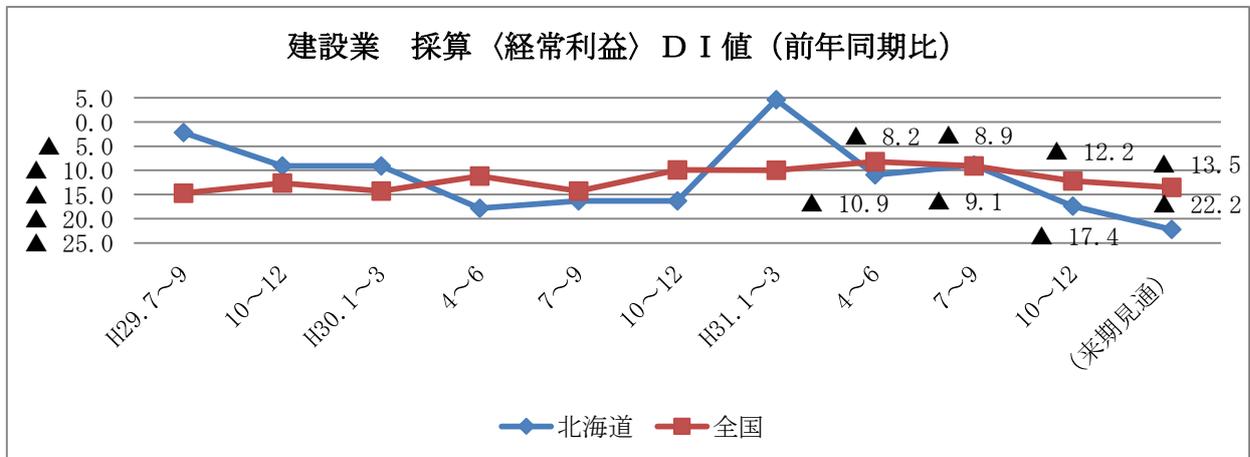
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少  
 (見込)売上額▲DI値・・・横ばい、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい

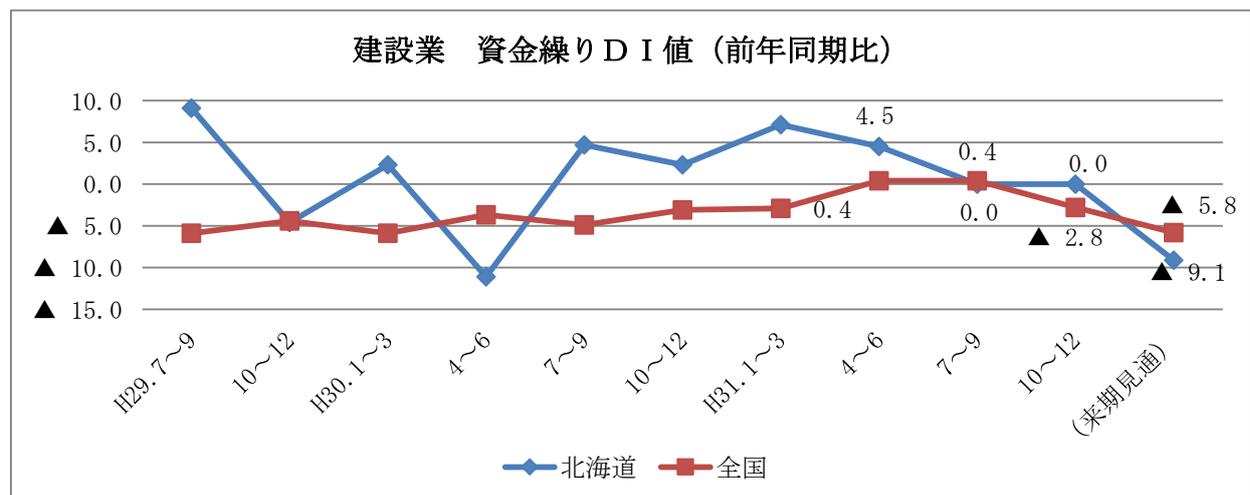
完成工事額



採算



資金繰り



### 小売業

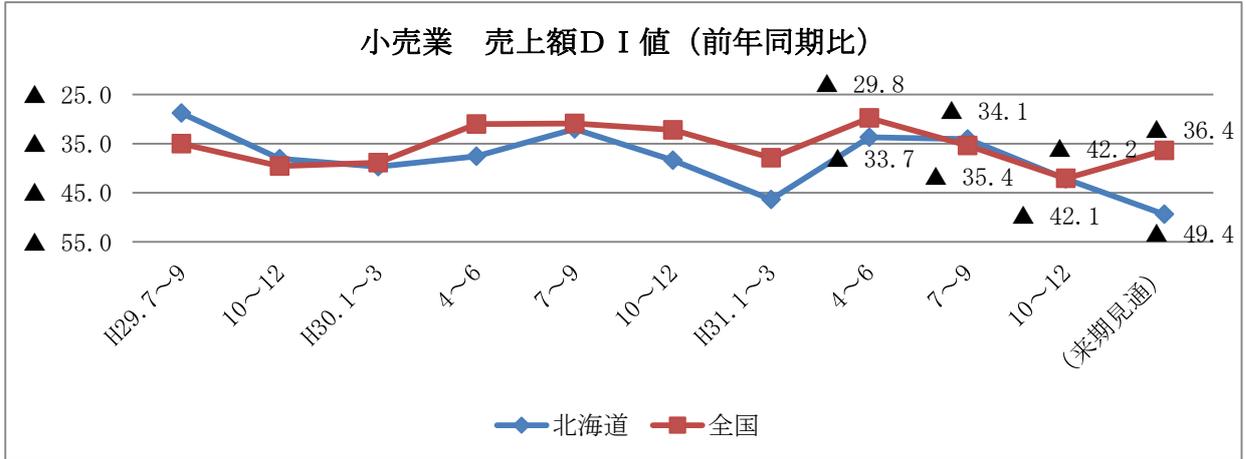
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・減少

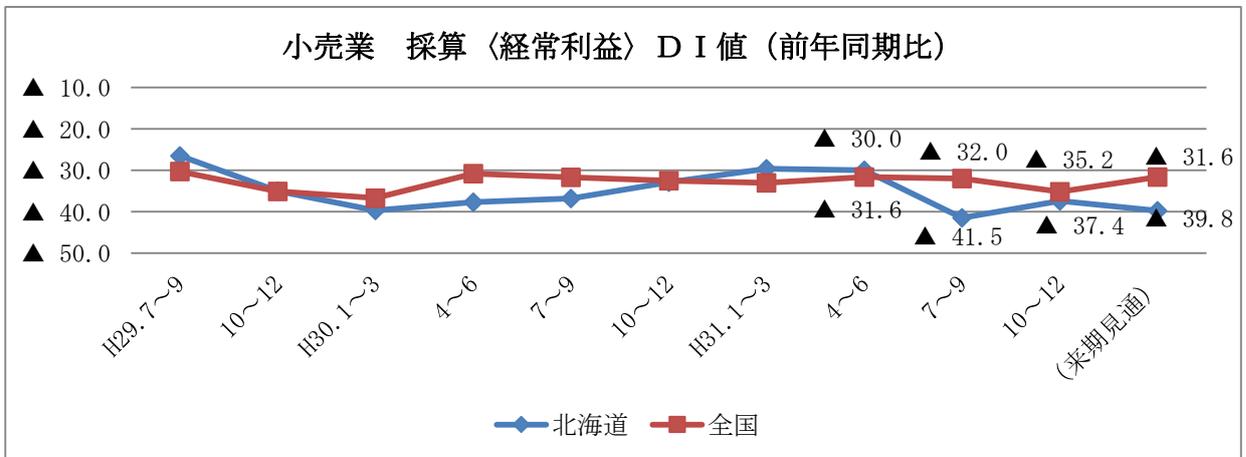
【全 国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい

(見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・減少、資金繰り▲DI値・・・横ばい

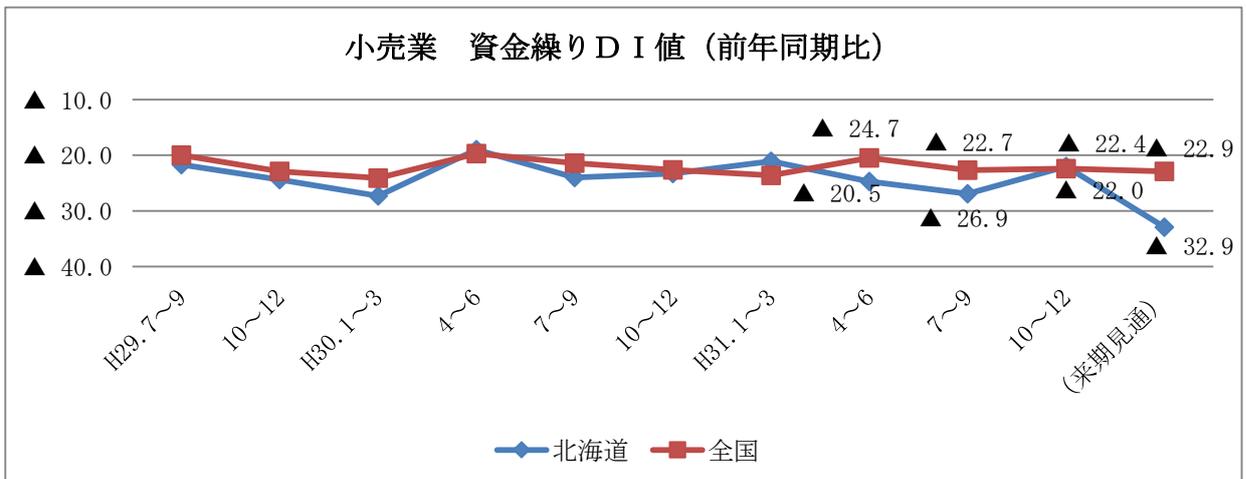
#### 売上額



#### 採算



#### 資金繰り

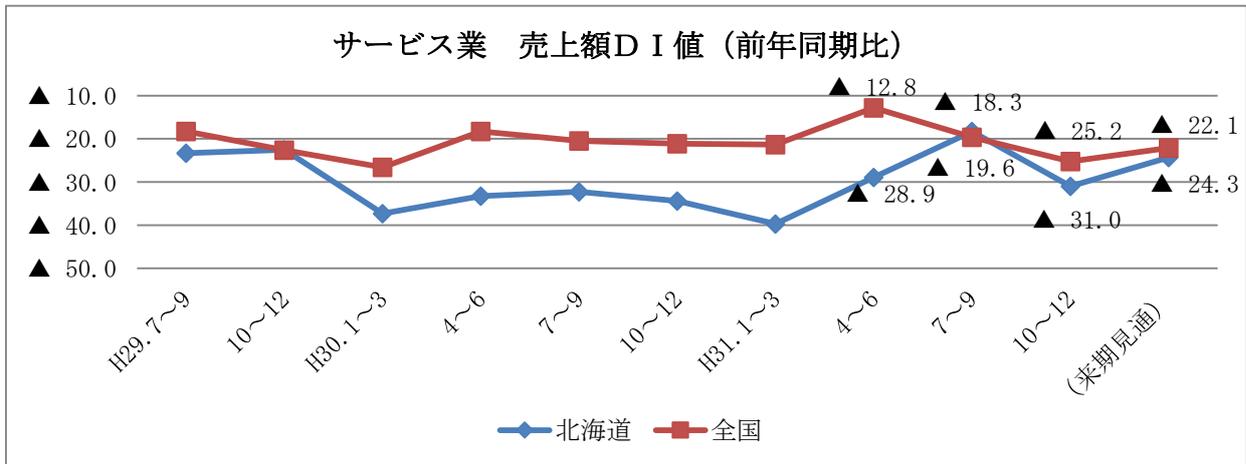


**サービス業**

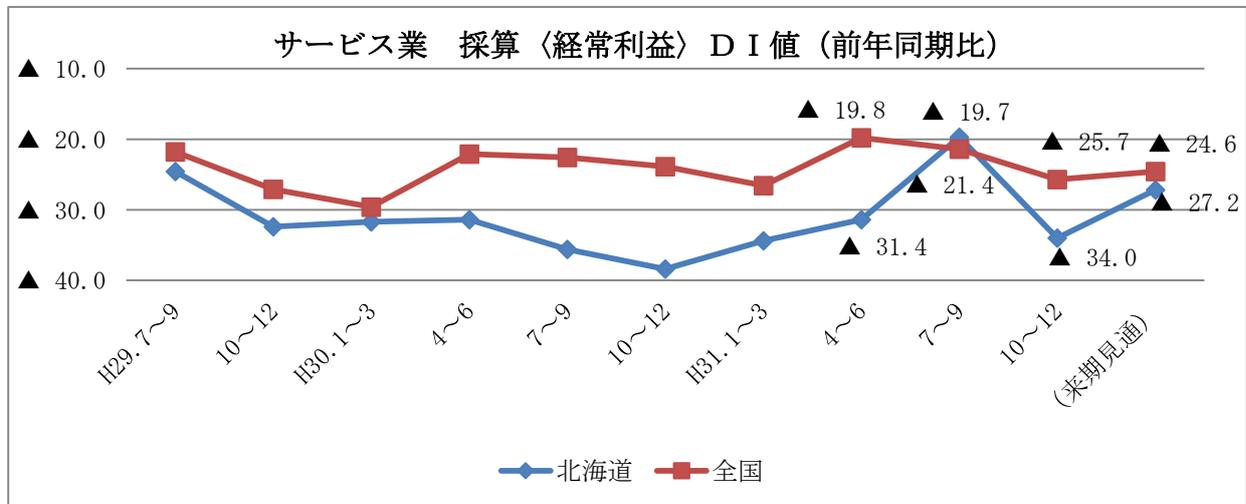
【北海道】(今期)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加  
 (見込)売上額▲DI値・・・増加、採算▲DI値・・・増加、資金繰り▲DI値・・・増加

【全国】(今期)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・横ばい  
 (見込)売上額▲DI値・・・減少、採算▲DI値・・・横ばい、資金繰り▲DI値・・・横ばい

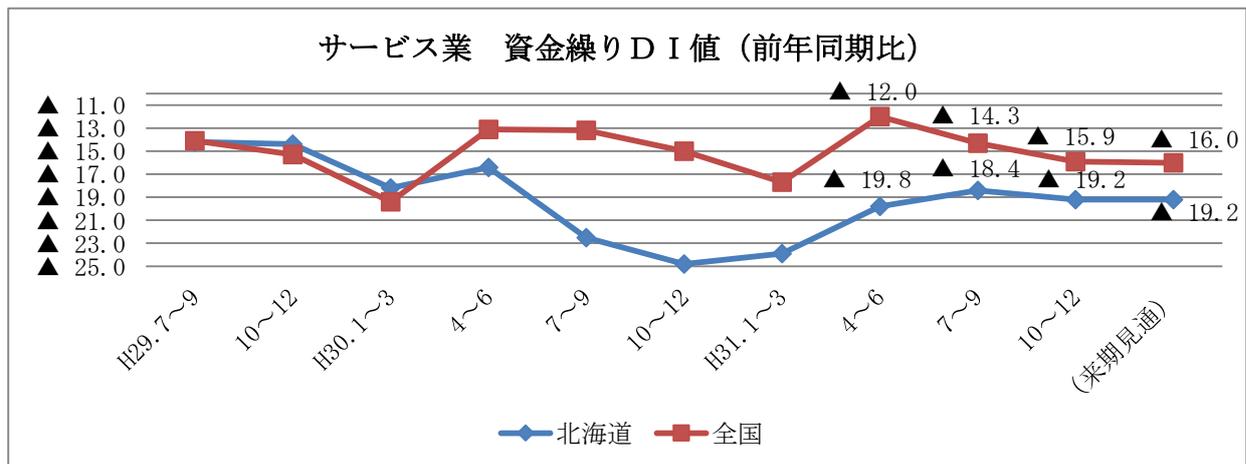
売上額



採算



資金繰り



## 5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>●取引が活発で景気の良い状態が続いております。持続的に続いて欲しいと思います。●売上の大幅な減少に伴い、勤務時間や従業員の削減、経費の見直しを行って何とかしのいでいます。受注先からの発注依頼が少なくなっているのが原因です。今後も無駄のない動きで進めていきます。●TV放映後の10月以降売上は上昇した。短期的にしる認知度は上がったと思える。今後、増税後の影響がどれだけ出てくるのか不安材料です。●革を仕入していた卸会社(東京・大阪)の廃業により、新たな仕入先の確保が必要となっている。今までは小ロットでの仕入れが可能だったが、今後どうなるかわからず不安。●需要減の状況で選ばれる商品づくりが必要である。●羅臼港では、10月にブリが大漁で売上も増えたが、他の魚種が水揚げは低調である。今後は真タラの水揚げに期待している。</p>
建設業	<p>●業況は良い状況でも従業員・下請業者が不足していて非常に厳しい。●人手不足で引合いはあるが受けられない。●ここから年度末に向けての工事の受注の取捨選択が、例年の決算で行くと損益分岐点になる位に比重が高く、軽率妄動とならぬように慎重に進めて深謀遠慮というより遠慮深謀として例年の工事を鑑みて利益取得を進めて行く。●技術者が1人になったため、ひとつの工事に時間がかかる。●消費税の上昇の関係の影響で9月工期の仕事が多かったため、10月以降の官工事の仕事は一段落した感じだ。人手不足による従業員の確保難により、仕事の受注を控えざるをえない状況で、景気は下降気味にあると思う。</p>
小売業	<p>●廃業を考えている。●従業員がいないため、配達時は留守となるため売上を見込めない。●同業者の改築移転オープンや新規出店から2年が経過し、徐々に売上、客数ともに回復してきた為。●地域経済の現状分析、それによる地域経済の循環を分析するのは商工会の1つのテーマである。会報の1つの課題である。●増税の影響が少なからずある。●春先の気候は、まるで夏の温度になり、その後納まって今度は猛暑と、気候の変化についてゆけない日々でした。季節の商品は次々はずれ、秋らしさのないうちに初冬を迎え、在庫の多さに悩まされ、仕入れも思う様に出来ませんでした。●南幌店閉店で11月12月売上増加しています。●10月は特に消費税の影響がありました。</p>

サービス業

●お客さんの減少が今期で落ち着くので、あとは少し増加しリピート率の定着化を目指さないといけない。●事業所関係の固定客の増加。●少ない家族でやってる店なので売上が少なくても結構忙しい。できることをやるだけ。仕入単価が上がっても値上げをすると客が減るのでできない。私のこづかいがどんどん減る。●10月より消費税増税で売上が落ちると思ったが、平年並みでホッとしている。しかし、11月以降どのような結果になるのか不安がある。●外国資本による新規ホテル、サービス業の増加に伴い弊社は、今後どのようなスタンスでサービスを提供するか。ニセコでの宿泊先受入がないため、修学旅行生が減ってきている現在、変化が必要となってきた。●お客様の高齢化により来店できなくなっている。●ホットペッパーによる広告掲載により新規顧客は一定来店しているが、まだ売上増加に至っていない。●消費税増税により10がつから一律500円値上げ。客数は変わらず売上増加につながった。●従業員確保が難点であったが年末に1人補充することができそうであるが、高齢化しているのでまた雇用しなければならず、何年にも渡りこの点において考えなければならないと思っています。●10月からの消費税の増税に伴い、価格の見直しをした為、売上は微増したものの、利益にはあまり繋がっていない。客数の減少が影響している。安定的な営業を継続する事が必要。4月に行った値上げの影響の為か、常連客の来店頻度が少なくなった。更に10月の増税で雰囲気が悪くなっている気がする。●消費増税もそれほど変化なく経過している。増税分の売上が上昇している。経費もその分増している。お客様の動きは今の所変化なく変わらない。●高い年代層の顧客が多い中、若い世代の顧客がなかなか引き込めない現状はいいが先細～？●新規事業の今後の売上好転を期待して、毎日接客に努力していかなければならないと考えている。